

後輩の勉強 卒業生が手助け

四日市・大池中で学習会

四日市市の大池中学校で23日、夏休みに生徒が卒業生の高校生から勉強を教わる補充学習会があった。先輩後輩同士ならではの和気あいあいとした雰囲気の中、1～3年生約40人が夏休みの宿題などを持ち寄って学習を進めた。

同校は「先輩の姿から学べる学校づくり」を掲げており、昨年から卒業生の高校生に学習ボランティアとしての協力を呼びかけている。今年は21日から3日間、四日市南高、川越高、曉高から計28人が集まった。

中学生は数学や英語などのテキストを広げて勉強に取り組み、必要に応じて高校生に質問を投げかけた。



高校生④に勉強を教えてもらう
中学生＝四日市市の大池中で

教える側の高校生は、和文英訳に取り組む中学生に、「『あなたは』は英語で何だと思っ？」などと声を掛けていた。

1年の渡辺芽依那さん

(13)は「クイズみたいにヒントを出してくれたから、嫌いな科目も楽しんでできた」と喜んだ。曉高1年の杉野暖真さん(15)は「忘れていたこともあったけど、一緒にやると思い出せて復習になった」と話した。

(竹内曉希人)